



平成25年3月25日(月)
国土交通省関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所

記者発表資料

国営昭和記念公園こもれびの里で「築250年の農家」の移築が3月末に完成！

～ 4月13日(土)午前11時からプレオープン(暫定公開)します ～

国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）にて、「昭和30年代の武蔵野の農村風景の再現」をめざして整備された「こもれびの里」のシンボルとして、築250年（推定）の農家の移築工事が3月末をもって完成することとなりました。

この農家は、東京都狛江市に建てられていたものをご寄贈いただき、平成21年度から4年間かけて移築したものであり、現在は立川市指定有形文化財「旧石井家住宅」となっています。

今後、農家の中に往時の暮らしや文化が分かる展示等を進めていくこととしていますが、いち早く完成した農家を一般の方々にご覧頂けるよう、下記のとおり4月13日（土）からプレオープン（暫定公開）することといたしましたので、お知らせいたします。

記

- ・開始日時：平成25年4月13日（土）午前11時00分
- ・場 所：国営昭和記念公園 こもれびの里
- ・注意事項：公開日時等の詳細は、後日、国営昭和記念公園管理センターから記者発表を行います。
暫定公開のため、一部利用制限を行います。詳細は公園内の案内表示および公園ホームページ(<http://www.showakinenpark.go.jp/>)でお知らせします。

※なお、展示等が完成した後に正式オープンを行います（現時点では本年秋頃を予定）。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・東京都庁記者クラブ・立川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

電話：042-524-1516（代表） FAX：042-526-1466

副所長 ひらつか 平塚 ゆうじ 勇司 （内線：205）

調査・品質確保課長 さわだ 澤田 だいすけ 大介 （内線：351）【農家・プレオープン関係】

工務課長 たきざわ 滝沢 さだお 貞男 （内線：311）【移築工事関係】

こもれびの里について

1. こもれびの里の概要

- ・昭和30年代の武蔵野の農村の心象風景を再現し、「昭和・武蔵野・農業」をテーマに、かつての暮らしの知恵の再発見と、将来に向けての発展継承を基本方針としています。
- ・施設計画への提案、田畑の開墾、開園後の管理運営等、計画・整備・管理の各段階を通してボランティアの方々が継続的に参加しています。



こもれびの里イメージスケッチ



こもれびの里平面図

2. 移築農家の概要

- ・多摩地域に江戸時代から伝わる伝統的な農家屋敷であり、こもれびの里の新しいシンボルとして、昭和30年代の武蔵野の農村の暮らしについて、展示や体験が行われる拠点施設となります。
- ・建物は、東京都狛江市から移築された「旧石井家住宅」の主屋、長屋門及び内蔵のほか、東京都あきる野市から移築された外蔵で構成されています。
- ・主屋は江戸時代18世紀後半、長屋門は19世紀前半、内蔵は明治時代初期、外蔵は明治時代に建てられたものと推定されています。
- ・移築工事期間：平成21年度～平成24年度

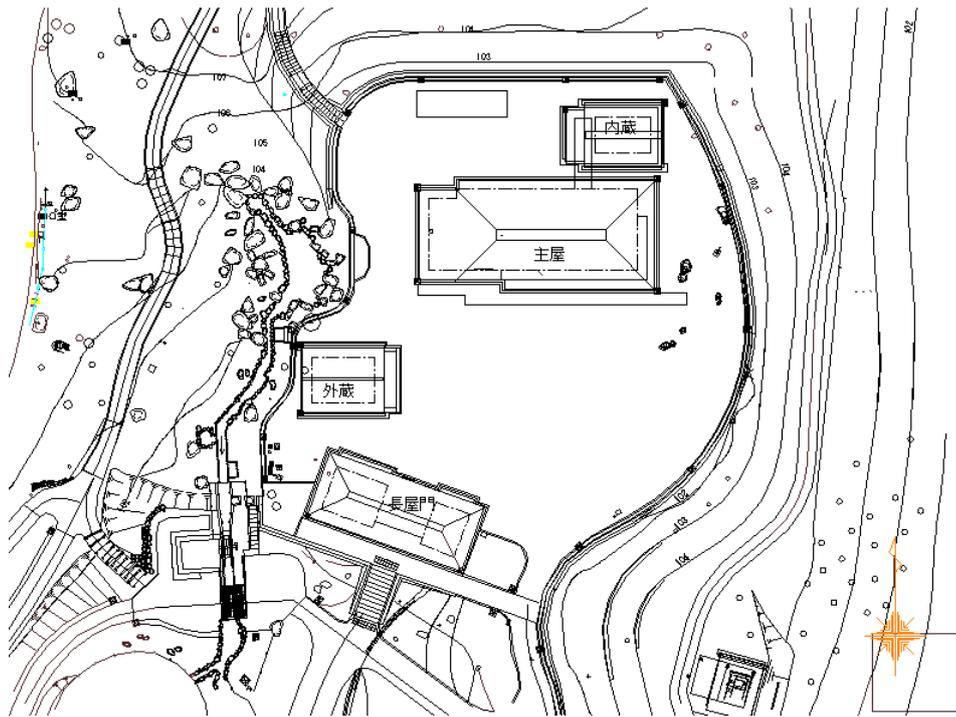


現況写真【長屋門（左）及び主屋（右奥）】

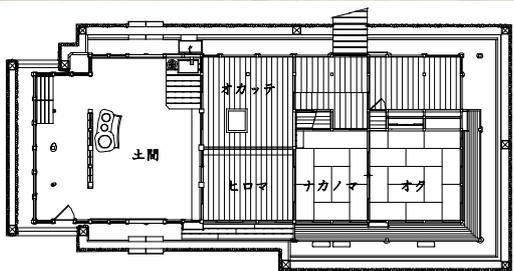


完成イメージスケッチ
【左から長屋門、外蔵、主屋、内蔵】

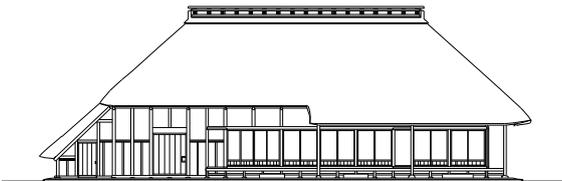
こもれびの里農家 平面図



主屋



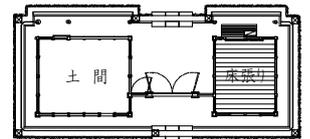
平面図



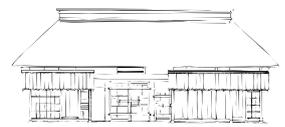
南側立面図

立川市指定有形文化財第17号平成21年7月
構造及び形式
木造平屋建、寄棟造、六間型、茅葺
桁行11.5間(20.91m)、梁間5.5間(10.01m)

長屋門



平面図

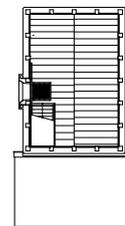


北側立面図

立川市指定有形文化財第17号平成21年7月
構造及び形式

木造平屋建、寄棟造、茅葺
桁行 7.5間(14.18m)、梁間 2.5間(4.60m)

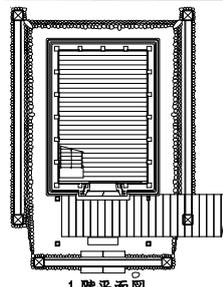
内蔵



2階平面図



西側立面図



1階平面図

立川市指定有形文化財第17号平成21年7月
構造及び形式

木造2階建、切妻造、茅葺
桁行3間(5.46m)、梁間2間(3.64m)